

平成 27 年 7 月 16 日

## 第 10 回 健康づくり推進協議会 議事録

全国健康保険協会福島支部

### 1. 開催日時

平成 27 年 6 月 18 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

### 2. 開催場所

ユニックスビル 8 階 会議室

### 3. 出席委員 (敬称略)

福島 哲仁 議長 (公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座 教授)  
杉浦 弘一 (国立大学法人福島大学 人間発達文化学類 スポーツ・芸術創造専攻  
スポーツ探究コース 准教授)  
黒田 裕子 (福島県 県北保健福祉事務所 健康福祉部主幹)  
田村 正美 (福島県 県北保健福祉事務所 健康福祉部主任栄養技師)  
磯貝 収子 (代) (株式会社 二嘉組 総務課長)  
春日 賢 (株式会社 フクシマ・フロンティア・ヒグチ 取締役副社長)  
菅野 美佳 (株式会社 三本杉ジオテック 総務課 課長)  
横井 ナオミ (株式会社 福島製作所 総務 課長代理)  
早川 岳人 (公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座  
准教授)

### 4. 議題

- (1) 平成 26 年度保健事業報告
- (2) 平成 27 年度保健事業計画
- (3) 平成 27 年度データヘルス計画

### 5. 支部長あいさつ

ご多用中のご出席に御礼申し上げます。福島支部の保健事業推進にご意見をいただきたくお願い申し上げます。

- ①国庫補助率の 16.4%維持の恒久的措置について
- ②データヘルス計画の進捗報告、ご協力依頼について
- ③地域医療構想・医療計画に保険者としての参画について

### 6. 議長ごあいさつ

本日の協議会は、協会けんぽ福島支部の平成 26 年度報告・平成 27 年度計画に提言をすることと

なります。忌憚ない活発なご意見をお願いします。

## 7. 議事

### (1) 平成 26 年度保健事業報告

議 長 事業者健診データの目標は取得率であるが、加入事業所全体の受診率は把握しているのか。

事務局 未受診の把握は困難であり、全事業所の把握はしていない。全国ベースでは 2 割が定期健診という結果もある。

委 員 事業者健診データのアンケートとはどういったものか。

事務局 健診受診機関名、受診時期、受診者数などのアンケートである。アンケートの結果に基づき、ダイレクトメールを送付した。その後、テレマーケティング業者を活用した提供勧奨を実施した。

委 員 被扶養者のアンケート結果は回答率が低い原因はなにか。

事務局 対象と数が異なる。事業者健診は 557 通を事業所に対し、被扶養者は受診券に同封し 73,799 通を個人に対し調査した。

委 員 協会のサービスの利用の有無にかかわらず、全体の受診状況把握は必要なのではないのか。

委 員 特定健診を規定する高確法では、保険者は特定健診で評価される仕組みになっており、労安法の規定で実施する定期健康診断の実施状況の把握までは含まれていない。

議 長 特定保健指導専門機関とはどのような機関か。

事務局 健診機関ではなく、提供された健診データ等をもとに特定保健指導の初回面談から最終評価までを受託する機関である。

### (2) 平成 27 年度保健事業計画

委 員 福島支部の健診結果から、血圧リスクがワースト 1 となっていることを、あらゆる機会に周知する必要があるのではないのか。また、減塩の重要性も積極的に周知してほしい。

事務局 データヘルス計画で高血圧に着目した事業を実施している。引き続き周知広報に努めたい。

### (3) 平成 27 年度データヘルス計画

委 員 事業所健康宣言にエントリーした。保健師からの連絡確認もあり、プランを決定したため今後は従業員に周知していく。

委 員 従業員の年齢が高くなり、事業が良いことと思うが、業務多忙もあり検討中である。

委 員 プラン設定は難しい内容ではなかったなので、取り組みやすい。

委 員 3 年間継続することに多少の不安はある。目標を年度ごとに変更しても差し支えないのか。

事務局 4 つの大項目、大項目内目標の変更ともに変更することができる。事業所の実態や要望にそうことがプラン設計の基本としている。

委 員 エントリーについては、労務担当者と検討していく。

- 委員 事業所とコラボする事業案内など、事業所に対するアクセスに使用できないか。リストを公表することは検討しているか。
- 事務局 支部ホームページに事業所名称、住所を掲載している。転用については、相談とさせていただきたい。
- 議長 エントリー事業所の取組みを取材し、広報してはどうか。
- 事務局 今後、取材のうえ掲載していく。
- 委員 薬局の窓口で禁煙相談ができるのは、薬剤師会とのコラボレーションで相乗効果があるのではないかと。福島支部のデータヘルス計画は他団体からも興味があるとの声をきいており、全国から注目される事業となっているのではないかと。

## 8. 議長まとめ

- (1) 事業者健診の実施状況の把握に努め、保健指導などのサポートを推進すること。
- (2) 被扶養者に対する特定健診は利便性のPRを実施し、受診しやすい体制を作ること。
- (3) 健康事業所宣言のハードルが低いのが良かった。目標設定などは丁寧な説明を必要とし、継続性のあるものとする。また、エントリー事業所の取組みをホームページなどで紹介すること。
- (4) 福島支部の健康実態をあらゆる機会をとおして事業所や加入者へ情報として提供を行うこと。